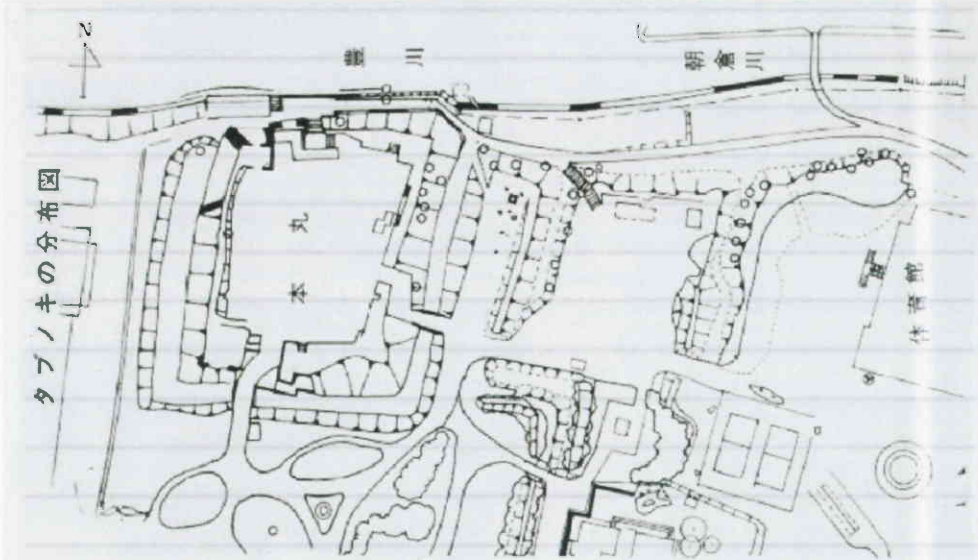


タブノキの分布図

「豊橋公園の自然」(恒川敏雄著)

昭和58年発行より



豊橋公園の地は、古くは吉田城として幾多の武将の住む所であった。明治になり歩兵第18連隊が設置され、軍隊の衛守の森として保護された。戦後、多くの公共施設が建設され、博覧会が開かれるなど、豊橋公園の自然は多くが壊されてしまった。

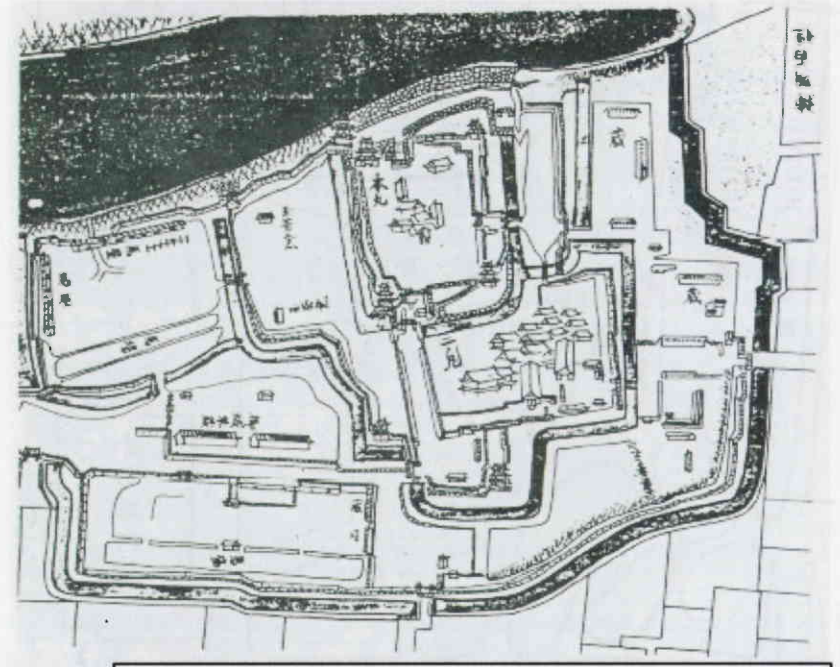
しかし、特に樹木については、財務省の管理下で厳しく管理されてきたこと、豊橋市も市民の要望を受け、多くの樹木を植栽・管理してきたことで、今でも市内に残された貴重な自然を提供する場となっている。

恒川氏(「豊橋公園の自然」著者)が昭和36年公園内の豊城神社北側斜面の植生調査を行ったところ、高木はタブノキ、ヤブニッケイ、モチノキ、シロダモ等々、低木はヤブツバキ、アオキ、ネズミモチ、アリドオシ等々からなり、豊橋公園の植生は典型的な豊橋平野のタブ型森林であることが確認された。このことから恒川氏は豊城神社および本丸あと周辺の植物については学術的価値からみても是非保護すべき地域であるとしている。

豊橋公園にわずかに残された自然の姿をとどめた森として、守り続けてゆきたいものである。

2011年 定例自然観察会

都市公園の自然 ～豊橋公園の30年



吉田城の図：引用「豊橋公園の自然」恒川敏雄著 p.209

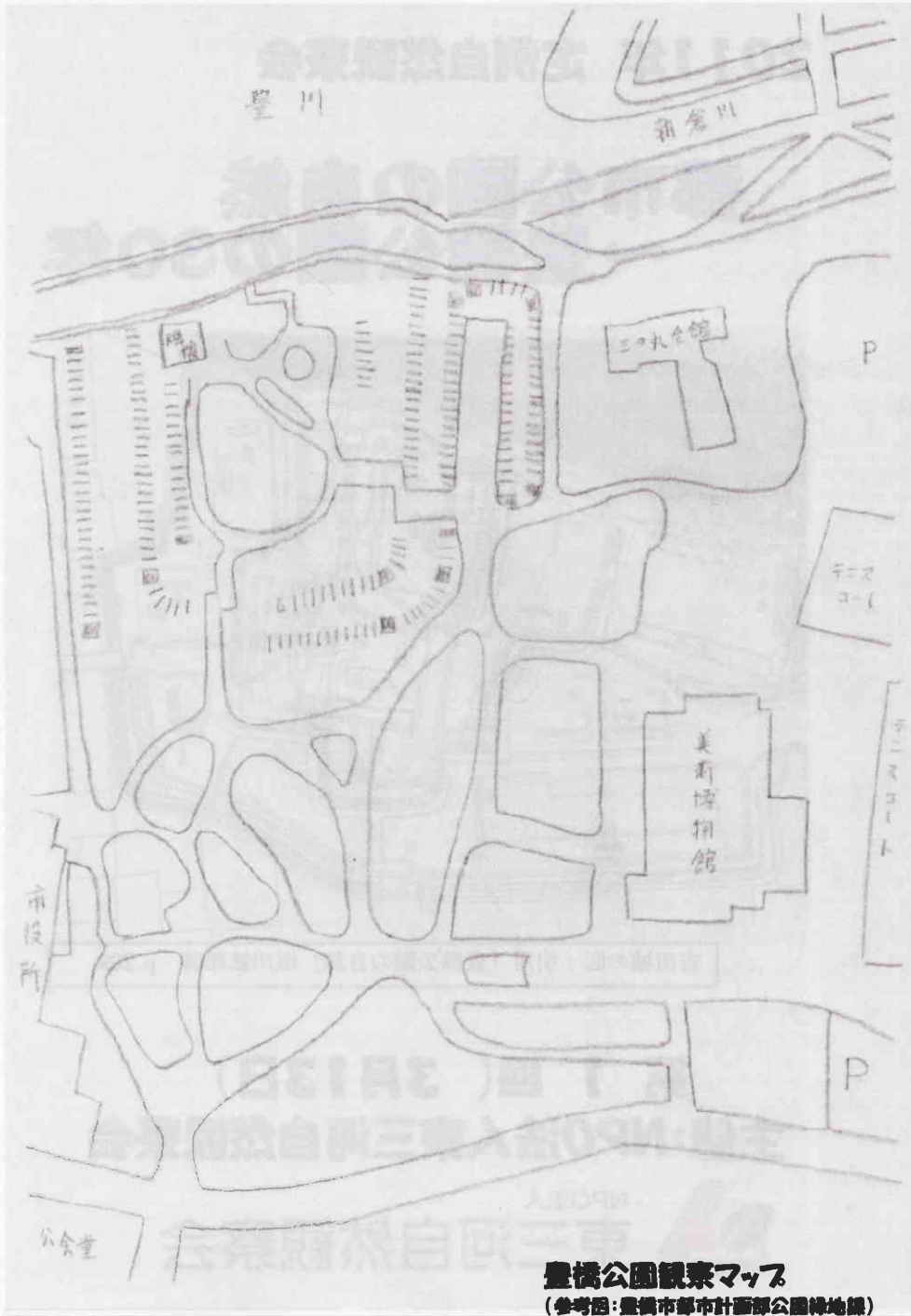
第1回(3月13日)

主催：NPO法人東三河自然観察会



NPO法人

東三河自然観察会



観察記録 (メモ)

Blank lined area for observation records (memo).

2011年 定例観察会 「都市公園の自然～豊橋公園の30年」 第一回 参考資料

1. 故恒川敏雄氏プロフィール

今年の定例観察会は、NPO法人東三河自然観察会の創立30周年記念行事の一環として行います。そこで約30年前（1983年3月）に出版された「豊橋公園の自然」に記された生物記録と現在とを比較することを観察会の一部に取り入れ、豊橋公園の30年の変化をみてみたいと思います。

以下「豊橋公園の自然」の著者である故恒川敏雄氏のプロフィールを簡単に紹介します。

- ・ 渥美郡渥美町亀山に生まれる
- ・ 豊橋中学校（現時習館高校）卒
- ・ 愛知第一師範学校卒
- ・ 豊橋市の小学校在職36年
- ・ 藤ノ花高校在職14年
- ・ 元三河生物同好会会長
- ・ 豊橋第一回文化奨励賞（三河生物同好会） 昭35・11・3
- ・ 第4回中日教育賞 昭47・10・1
- ・ 豊橋市教育賞 昭55・11・23
- ・ 市勢功労者表彰 昭58・11・3
- ・ 昭60 没

2. 「とよはしの巨木・名木」（平成20年 豊橋市都市計画部公園緑地課発行）より抜粋

豊橋公園全体地図
昭和24年開設
面積21.64ha

地図引用：

「改訂版とよはしの巨木・名木」
 （豊橋市都市計画部公園緑地課）



No. 40 イソノキ

幹周：360cm 高さ：15.8m 枝張り：16m×18m

推定樹齢：300年以上 科名：マンサク科イソノキ属

分布：本州（静岡以西）・四国・九州・沖縄

豊橋のイソノキの中ではもっとも大きい。根張りが素晴らしい。葉や枝には虫こぶがでやすい。別名ヒョンノキ

No. 41 ケヤキ1

幹周：400cm 高さ：11.7m 枝張り：13m×12m
推定樹齢：100年以上 科名：ニレ科ケヤキ属
分布：本州・四国・九州

主幹が無く空洞だが、豊橋のケヤキの中では太い。野鳥（アオバズク）が飛来してくる。ケヤキは別名ツキという。

No. 42 ケヤキ2

幹周：500cm 高さ：18.5m 枝張り：13.6m×12m
推定樹齢：300年以上

落雷で主幹は無いが、豊橋のケヤキの中では太い。なお豊橋公園には約300本のケヤキがある。土塁周辺に多い。

No. 43 ケヤキ3

幹周：530cm 高さ：10.2m 枝張り：21m×21m
推定樹齢：300年以上

幹は空洞であるが、豊橋のケヤキの中ではもっとも太い。

No. オガタマノキ

幹周：150cm 高さ：13.5m 枝張り：13.0m×11.0m
推定樹齢：100年以上 科名：モクレン科オガタマノキ属
分布：本州（千葉県以西）・四国・九州

豊橋では珍しい。神社等に植えられる木で、花は甘い香りがする。名は招霊（おきたま）が転じたとされる。（花の見ごろ3月）

No. 45 アメリカキササゲ

幹周：275cm 高さ：19.0m 枝張り：13.5m×13.5m
推定樹齢：60年以上 科名：ノウゼンカズラ科キササゲ属
原産地：北米

豊橋のアメリカキササゲの中では最も大きく珍しい。本種は明治末に渡来している。枝に多数花をつける。（花の見ごろ6月）

No. 46 クロマツ1

幹周：340cm 高さ：28.6m 枝張り：18.5m×18m
推定樹齢：300年以上 科名：マツ科マツ属
分布：本州・四国・九州

豊橋のクロマツの中ではもっとも高い。樹形が美しく、遠方からでも確認できる。豊橋公園には約300本のクロマツがある。

No. 47 クロマツ

幹周：340cm 高さ：21.1m 枝張り：13m×16m
推定樹齢：300年以上

豊橋のクロマツの中では太く、ケヤキと寄り添っている。樹皮は黒味を帯び、網目状に裂ける。クロマツを雄松、アカマツを雌松という。

沖野の野鳥観察記録 2010年		種名	4月11日	5月9日	6月13日	7月11日	9月9日	9月12日	10月10日	11月14日	12月12日	分類
カイツブリ目	カイツブリ科	カンムリカイツブリ								○		
		カイツブリ				○				○		
ペリカン目	ウ科	カワウ	○	○		○	○	○	○		○	留鳥
コウノトリ目	サギ科	アオサギ	○	○	○	○					○	
		ダイサギ		○	○	○						
		ミサゴ						○			○	
タカ目	タカ科	ハイタカ									○	
		オオタカ							○			
		トビ						○		○	○	
		ハイタカSP							○	○		
カモ目	カモ科	ヒドリガモ									○	冬鳥
		カルガモ		○								
		キンクロハジロ									○	冬鳥
キジ目	キジ科	キジ		○	○							
ツル目	クイナ科	バン	○									
		オオバン									○	○
		ケリ			○							
チドリ目	チドリ科	イカルチドリ	○									
		チドリSP				○						
	シギ科	タカブシギ							○			旅鳥
		シギSP					○	○				
	カモメ科	セグロカモメ									○	
ハト目	ハト科	キジバト	○	○	○	○			○	○	○	留鳥
キツツキ目	キツツキ科	コゲラ		○				○		○		
	ヒバリ科	ヒバリ			○	○						
	ツバメ科	ツバメ	○	○	○	○						夏鳥
		イワツバメ						○				旅鳥
	セキレイ科	ハクセキレイ			○					○	○	
		セグロセキレイ			○							
		セキレイSP										
	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	留鳥
	モズ科	モズ						○	○	○		
	ツグミ科	ノビタキ										旅鳥
		ジョウビタキ								○	○	冬鳥
		シロハラ								○	○	冬鳥
		ツグミ	○							○	○	冬鳥
スズメ目	ウグイス科	ウグイス	○	○	○	○	○			○	○	夏鳥
		オオヨシキリ	○	○	○	○		○				
		セッカ	○	○								
	ヒタキ科	キビタキ		○					○			旅鳥
	エナガ科	エナガ									○	
	シジュウカラ科	シジュウカラ	○	○	○			○	○	○	○	留鳥
		ヤマガラ						○	○			
	メジロ科	メジロ							○	○	○	
	ホオジロ科	アオジ	○							○		冬鳥
		ホオジロ	○	○	○	○	○	○			○	留鳥
	アトリ科	カワラヒワ	○	○	○	○			○	○	○	留鳥
		シメ									○	
	ハタオリドリ科	スズメ		○	○	○	○	○	○	○	○	留鳥
	ムクドリ科	コムクドリ							○			旅鳥
		ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	留鳥
	カラス科	ハシボソガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	留鳥
11目	28科	48種	16種	18種	19種	18種	10種	15種	18種	22種	24種	
	水辺の鳥	14種										
	アシ原の鳥	2種										

注 SP:種の同定ができず、科・属レベルの分類で記録したことを示す。

調査:NPO法人 東三河自然観察会